



青田議員



授業風景

質問 全国学力テストでの好成績を維持する取組みは

教育長 更なる教育環境の整備を進める

質問 全国学力テストの結果すべての科目で全国平均を上回る好成績は大変喜ばしく、町が行う最大の子育て支援と評価する。今後この状況が継続し更なる高みを目指すためにどのような取組みを行うのか。

回答 小学校における学習支援サポーターや理科専科教員の配置、中学校での学力向上推進講師の配置や放課後学習など、今までの取組みを確認しながら充実させていく。環境整備に関しては、児童生徒に新学習要領に適したICT環境の整備と外国語指導の充実を、教職員には授業以外の校務に要する時間を削減することにも、働き方改革を通じてより一層児童生徒と接する時間を増やす取り組みを実施する。

質問 全国学力テストの結果すべての科目で全国平均を上回る好成績は大変喜ばしく、町が行う最大の子育て支援と評価する。今後この状況が継続し更なる高みを目指すためにどのような取組みを行うのか。

質問 新たな税収入で町の目玉となる新たな林産業を考えるべきでは

町長 森林の保全、山づくりの整備で活用する

質問 森林環境税の導入が決定されたなか、本町林産業の活性化に向けてどのような準備をしているのか。また、配分される森林環境税(仮称)をどのように活用しようとしているのか。

回答 本年度は林地台帳の整備、来年度は森林所有者に新たな法制度の趣旨を周知し、森林経営管理の意向調査を行う。また、森林環境譲与税の活用策の一つとして木質チップによるバイオマスボイラーの導入を推進する。

再質問 森林を活用した新たな産業を発掘し、それが町の目玉になり、人が集まるようなことを先駆けて手を挙げて実行すべきでは。

回答 木材を活用した新たな産業に税金を使うことは確かに有効な方策であるが、森林環境税に対する現在の町の考えは、まず、森林を守り山をしっかりとつくるということを進めていきたい。

質問 報酬改定時には適宜審議会の開催をすべき

町長 条例に沿って審議会を設置する

質問 町長等町理事者の報酬改定で増額する場合は特別職員報酬等審議会が開催されることになっているが、減額の際は審議会への諮問を行っていない。住民自治の考えに沿い、審議会を適宜開催すべきでは。

回答 平成18年に開催された審議会で、減額改定する場合は審議会の意見を必要としないとの答申を受けたことから審議会条例を改正した。報酬額等は条例に基づき広く住民周知・理解を図っているため、審議会を開催しないことが住民自治に沿わないとは言えないと考える。

再質問 人口が減少するなか、報酬が変わらないことに疑問を持っている町民がいることも考えると、減額であろうと改定時には審議会に意見を聞くという姿勢はやはり必要ではないか。

回答 審議会は私(町長)が見る聞くために設置するもの。社会情勢等から現報酬額を変えなければならぬ状況の時には開催するが、今の段階では問題ないと考え、審議会条例に沿って対応していく。

質問 議員のなり手不足に対する町の対応は

町長 議員と共に知恵を出して取り組む

質問 議員のなり手不足が全国的に問題となっているなか、本町も同様の問題が生じる可能性がある。議会を維持し機能発揮による住みよい町を構築するためにも、なり手不足に対して町全体で考えるべきでは。

回答 議員のなり手不足は大きな問題と考える。議員報酬改定や新庁舎建設における議場等の設計など議会の充実、活性化に向けた活動を側面的に支援するとともに、議会としても町民の目線に立ち顔の見える議会活動を通じて議員としてのやりがいや議会の大切さを伝えていただくことが、なり手不足の解消につながると思われる。

質問 スタインウェイ社のピアノを活用した今後のまちづくりは

教育長 音楽の流れるまちを推進

質問 スタインウェイ社のピアノ購入により、コーラスサークル、ピアノ教室などこれまで多くの活動が継続されてきているなか、今後の更なる活用は。

回答 ゆめりあの優れた音響効果とともにピアノが有効に活用されるよう、鑑賞事業や町民の音楽活動を通じて音楽の流れるまちづくり、歌声を愛するまちづくりを推進していく。